

第2回文化庁映画賞 文化記録映画大賞受賞
2004年度キネマ旬報ベストテン第1位

海女の リャンさん

90分 解説書付
個人向 ¥5,040 (税抜 ¥4,800)
品番 KKJS-39

団体向 ¥21,000 (税抜 ¥20,000)
ISBN 978-4-86271-072-7
品番 KKJL-33

推薦します! —— 相馬雪香 (日韓女性親善協会 名誉会長、
難民を助ける会 会長)

現在、ますます世界は小さく狭くなって、あまり心に留めなかったような遠くの問題も、
身近に感じられるようになったのではないのでしょうか!

その意味で、私たちもアジアに於ける日本の歴史をよく学んで、
近隣諸国の方々と、新しい意味でのパートナーシップをもつ国民にならなければと願っております。

そういった面からも、このDVDをより多くの方々にご覧いただき、
日本・韓国・北朝鮮の悲しい歴史に翻弄されながらも、たくましく明るく生きてこられた
“リャンさん”を通して、いろいろなことをお考えになるきっかけといただければと願っております。



文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS



海女のりゃんさん



海を越えた明るく強い母の愛！

「私が悪いことをしたわけでもないし、
誰のせいにもできないよ・・・あの時代を恨むしかない」

日本・韓国・北朝鮮に離散した家族の絆を守り抜いた母の物語
彼女が歩んだ苦悩の半生を描いたドキュメンタリー映画



偉大な母の持つ包容力に
圧倒された。
とにかく見てほしい！
感動してほしい。
近ごろ希有な傑作映画だ。

——山本晋也(映画監督)



映画の内容

戦前、済州島から日本に渡り、現在は大阪で一人暮らすリャン・イーホン(梁義憲)さん(1916年生)の生活を3年間にわたって記録した長編ドキュメンタリー映画。

映画づくりのきっかけは、朝鮮通信使研究家、故辛基秀氏が1966年から2年間かけて記録した未完成フィルムに出会ったことから始まる。映像には若いリャンさんが海女として日本各地の海で働く様子や、朝鮮民主主義共和国(北朝鮮)に子どもを帰国船で送り出す姿が捉えられていた。この記録映画を是非完成させたいと日本人監督が製作を引き継いだ。

リャンさんという一人の女性が、差別と貧困の中で、妻として夫を支え、母として子ども達を育ててきた家族の歴史を追って、約40年前の「在日」のカメラマンの捉えたフィルムに、現在を日本人カメラマン、そして家族のカメラが捉えた映像を結集して、未完の映画を完成させた。

映画では故郷・韓国済州島への53年ぶりに訪問するリャンさんや、これが最後の訪問と思う北朝鮮への旅も紹介し、日本、韓国、北朝鮮に離散した子ども達との関係から、国家の対立がもたらす悲劇と家族の絆の尊さを伝える。

海女のりゃんさん

2004年／90分

製作：村山英世

監督・脚本：原村政樹

撮影：木村光男、金性鶴、原村政樹、金世正

音声：小原静二、今野聖輝

編集：四宮鉄男

音楽：徳永由紀子

録音：長谷部勝

語り：康すおん

映像資料提供：辛基秀、NHK、金東満、耽羅研究会、総聯映画製作所

企画・製作：桜映画社

支援：文化庁

株式会社 桜映画社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1 千駄ヶ谷ビル4階

TEL: 03-3478-6110 FAX: 03-3478-5966

http://www.sakuraeiga.com

お問い合わせは